

「神奈川県立白山高等学校」 学校長訪問

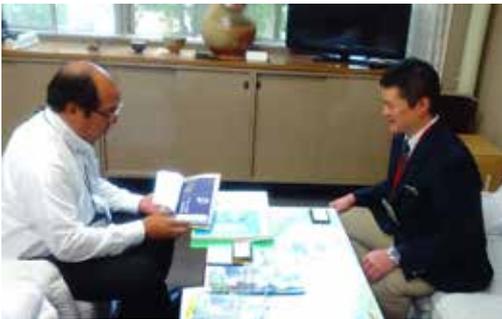
神奈川県立白山高等学校 校長と面会した。担当区内で重点校とされた同校ではあるが、なかなかスケジュールが合わずお会いできなかった。そこで、青木広報官が同校在籍中の対象者から学校の様子を聞き、足繁く学校へ通い、進路指導主任の教諭へ誠意を示すことができ、ようやく学校長との面会が実現することとなった。

同校からは、今までも数名入隊者を輩出していたが、平成30年春には一般曹候補生1名と自衛官候補生2名の合計3名が入隊し、陸上自衛隊武山駐屯地や海上自衛隊横須賀教育隊で新隊員教育を受けている入隊者について現況を報告すると、学校長から「卒業生が次のステージで頑張ってくれているのは嬉しい限りです」との声をもらった。

在校生が先輩に続き自衛隊を進路の一つとして選択してもらえよう高校生が受験可能な各種目について所長自ら熱く説明をした。資料を差し出すと、学校長は積極的に関心を持って説明を聞き入っていた。その様子から熱意が伝わったように見えた。

在校生に向けてPRできるよう校内にポスター掲示をお願いしたところ、学校長は快く引き受けてくれ、「教員向けに自衛隊の説明会を実施してもらうことは可能ですか」と前向きな提案があった。自衛隊を理解して頂き非常に有意義な時間となった。

市ヶ尾募集案内所は「神奈川県立白山高等学校の学校長と直接お話をする機会を設け、自衛隊を理解して頂いた成果は大きかった。先生達と一緒に同校から今まで以上の志願者獲得と入隊者輩出に繋がってほしい」としている。



資料を手に取り説明を聞く学校長

研修先で再会、ご子息の姿に感動の涙

神奈川県立白山高等学校 校長と面会した。担当区内で重点校とされた同校ではあるが、なかなかスケジュールが合わずお会いできなかった。そこで、青木広報官が同校在籍中の対象者から学校の様子を聞き、足繁く学校へ通い、進路指導主任の教諭へ誠意を示すことができ、ようやく学校長との面会が実現することとなった。

その後、武山駐屯地の食堂で高等工科大学オリジナルの「御幸（みゆき）カレー」を体験喫食し、一部の父兄は平成30年度に陸上自衛隊高等工科大学へ入校した息子と面会した。その中の鈴木孝太郎君のお母さんから横須賀地域事務所の丸山広報官に対して「息子に会うことができました。土日は忙しくてなかなか帰って来れないので心配していましたが、ゴールデンウィーク以来の元気な姿が見られて安心しました」と話し涙ぐむ場面もあり感動の再会を喜んでいました。

午後には実施した、海上自衛隊横須賀教育隊の研修では、横須賀教育隊司令（島村1佐）自ら横須賀教育隊の現状説明及び質疑応答を行うとともに、生徒隊舎及び短艇訓練、防火実習などの現場説明を行った。家族会会員も和やかな雰囲気の中で有意義な時間を過ごした。家族会会員からは「規則正しい生活とすばらしい環境で息子が頑張っていると思うと安心した。」などの感想が聞かれた。最後の、高等工科大学の研修では、講堂及び資料館を見学するとともに、教務中の学生がきびきびとした行動に会員が感動するなか1日の研修は終了した。

家族会会長（曾我部長船さん）は「これからも、このような部隊研修を通じ防衛に関する理解を深め、市民と自衛隊との架け橋として防衛思想の普及と高揚を図る」と述べた。

横須賀地域事務所は「今後も家族会との連携して募集活動に邁進していく」としている。

横須賀地域事務所は「今後も家族会との連携して募集活動に邁進していく」としている。



学生居住区を説明する司令



高等工科大学の紋章を説明する広報担当者